



高梁市西部地区の医療の今後は？

金尾 恭士 議員

川上医療センター・ひだまり苑の指定管理について

金尾 具体的にどのように変わるのか。また、市民に影響はないのか。

増大している。徹底した見直し等、具体的に精査していただきたい。

健康福祉部長 サービス提供は指定管理者、財政運営は市という新しい方式の指定管理への移行と成羽病院の付属とする2点が変わる点。財政運営のみの移管なので、市民には影響はない。

増大している。徹底した見直し等、具体的に精査していただきたい。総務部長 合併特例債の活用を想定。中期財政見通しのローリングを秋ごろまでに行っていく。国庫補助金増額の要望、合併特例債の再々延長の要望を行っている。

島根原発原子力災害の広域避難計画について

金尾 現在の指定管理期間は令和6年8月末で満了。年度途中での変更で支障はないのか。

金尾 島根原発「原子力災害時における広域避難に係る避難経路所・避難所運営マニュアル」はできていないのか。広島県は100%、岡山県は高梁市を除き全市町村作成済み。

新消防庁舎・高梁こども園の建設について

金尾 建築予算が当初と比べて、約1.5倍から1.6倍以上にも

政策監 年内の作成を目指している。作成が完了次第、公表したい。



森 和之 議員

攻めの姿勢で空き家の活用を

移住・定住について

森 市街地において、空き家(好物件)の提供が進んでいないと感じている。担当課の職員が、現地で空き家の状況を把握して、空き家の持ち主にアプローチするなど攻めの姿勢が必要ではないか。

森 リフォーム補助は単年でなく、繰り越し運用を認めるべきでは。市民生活部長 まずは担当課に相談してほしい。空き家の入居者が困らないよう考えていきたい。

伯備線沿線の鉄道撮影者について

市民生活部長 独自の調査は行っていない。各地域に居住する職員や地域の人からの情報提供、情報収集に努めている。

森 混雑を予測して駐車場を用意するなどの事前準備をしていたが問題はなかったのか。

森 住もうよ高梁推進課の職員数減と職員異動が多いのも問題だと思いがどうか。

森 駐車場とトイレが一番の問題だと思いが、どう考えているか。

副市長 職員が減ったのは事実であるが、少しまだ工夫が足りないと感じている。職員数にある程度制限をかける中で、地域別担当職員を含めて一人二役、三役という考えを持つ必要がある。

市長 川面地域市民センターにも協力を願ってトイレを開放する。また、備中川面駅の閉鎖されたトイレはJRRと協議をしよう。



吹屋だけでなく城下町を重要伝統的建造物群保存地区に

平松 久幸 議員

本町の町並みについて

平松 本町など歴史的風情が色濃く残る通りに対して、町並みの保存整備を進めているが、その成果をどうとらえているのか。

筋、紺屋川筋の無電柱化を掲げていた。平成22年の同計画策定当時は無電柱化のための共同溝の設置などハードルが高かった。現在は「全国無電柱化を促進する首長の会」に所属しており、電気通信事業者の理解を得た上で、事業費が安価に済む形で整備できる方向が示されている。

市長 本町の町並み保存整備は平成10年から進めている。平成5年に東京芸術大学前野教授が町並みを調査し、その結果をもとに町並み保存整備事業をスタートした。昨年2月に「高梁の歴史的風致を考える会」や「NPO法人倉敷町家トラスト」の皆さんが行った調査結果では、本町、下町、南町あたりで20%から50%位は昔の建屋が残っている。成果としては、しっかりと残っていると評価している。

平松 本町筋は国の重要伝統的建造物群保存地区に申請できないか。

平松 歴史的景観維持の面や、防災面からも無電柱化を進められないか。

市長 重伝建は、文化財保護法に規定があり、周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的建造物群で価値の高いものと想定されている。重伝建はステータスシンボルとして、住まわれる方にとっても誇りになると思う。地域の方の理解を得ながら取り組みたい。



小林 重樹 議員

ゼロカーボンシティ宣言を

環境施策と取組について

小林 脱炭素は世界的に取り組まれている。高梁市においても脱炭素の取り組みが必要と思われるが、具体的にどのように進めていくのか。

小林 新たに進めて行く第2次高梁市環境基本計画について、市長はどう取り組むのか。

政策監 公共施設の新築、増改築や設備更新の際に省エネルギー設備を積極的に導入するとともに、太陽光発電設備等、再生可能エネルギー設備を公共施設や市の所有地に導入していきたい。またごみ処理に伴う温室効果ガスを抑制するため、ごみのリデュース、リユース、リサイクルのさらなる推進を図りたい。森林資源においても、温室効果ガスの吸収源になることから適正な取り組みを推進していきたい。

小林 県内では多くの市町村が脱炭素社会の実現を目指す宣言をしているが、本市は宣言をしていない。本市においても、第2次環境基本計画が策定できたことも踏まえて、宣言してはどうか。

市長 「高梁市ゼロカーボンシティ」を宣言する。

市長 「高梁市ゼロカーボンシティ」を宣言する。